

会 議 録

1 会議名

令和4年度 第8回和田区地域協議会

2 報告（公開・非公開の別）

（1）諮問事項 新市建設計画の変更について（答申）（公開）

3 議題（公開・非公開の別）

（1）地域活性化の方向性について（公開）

4 開催日時

令和4年10月19日（水） 午後6時30分から午後7時5分まで

5 開催場所

ラーバンセンター 第4研修室

6 傍聴人の数

1人

7 非公開の理由

—

8 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員：有坂正一（会長）、片田和夫、佐藤勝雄、篠原精子、高橋武弘

宮崎雅彦（副会長）山岸優子、横田英昭（欠席6人）

・事務局：南部まちづくりセンター 滝澤センター長、小池係長、難波主任

9 発言の内容

【小池係長】

・植木委員、金子委員、草間委員、佐藤力委員、清水委員、平原委員を除く8人の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

・同条例第8条第1項の規定により、議長は会長が務めることを報告。

【有坂会長】

・会議の開会を宣言

・会議録の確認：佐藤勝雄委員に依頼

次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

【滝澤センター長】

- ・配布資料の確認
- ・次第に基づき、議題の確認

【有坂会長】

- ・「議題等の確認」について質疑等を求めるがなし

— 次第3 報告（1）諮問事項 新市建設計画の変更について（答申） —

【有坂会長】

次第3 報告（1）諮問事項 新市建設計画の変更について（答申） に入る。
事務局より説明を求める。

【小池係長】

- ・資料No.1に基づき説明

【有坂会長】

- ・ただ今の説明について、質問のある委員の発言を求めるがなし。

以上で次第3 報告（1）諮問事項 新市建設計画の変更について（答申） を終了する。

— 次第4 議題（1）地域活性化の方向性について —

【有坂会長】

次第4 議題（1）地域活性化の方向性について に入る。

前回の会議で、市から今年度中の作成着手を依頼されている「地域活性化の方向性」について、事務局から説明を受け、各委員より記入シートを記入いただいた。それをまとめたものについて、事務局より説明を求める。

【小池係長】

- ・資料No.2、参考資料に基づき説明

【有坂会長】

配布資料には誰が記入したものを特に記載していないが、各自、自分で出した意見は分かると思う。本日出席の委員から、補足も含めて順番に説明を願いたいと思う。最初に宮崎副会長より発言願う。

【宮崎副会長】

時間のなかで記入したため単純な言葉だけであるが、7番目の意見を記入したのが私である。

「和田区の上越市の南の玄関という個性をいかして、活性化を進めます。」ということで、一つ目はやはり新幹線の駅があるのは和田区であることから「上越妙高駅がある」ということと、金谷区になるが「高速自動車道 上越高田インターが近くにある」という交通の要衝というか、本当に交通の便がよいということを二つ挙げた。

次に三つ目は、先日視察でも見た「最先端の情報通信基盤のある拠点」ということで、これからの発展の重要な要素になると思っている。

四つ目は、「吹上・釜蓋遺跡がある」ということ。

五つ目は、まだはっきりとした計画にはなっていないが、現在、上越妙高駅の東口に新たな施設が建設中ということも含めて「駅周辺に新たな開発計画がある」ということである。

今ほど示された和田区におけるアイデアのほか、牧区における地域活性化の方向性があるので、皆で話し合いながら、もう少し肉付けをしていくことができればよいと思っている。

【有坂会長】

次に8番目の意見を記入した篠原委員より説明願う。

【篠原委員】

宮崎副会長の意見と同じような感じであるが、「交通（新幹線など）の便がよい、関川・矢代川・雪の恵み、釜蓋遺跡などの歴史という個性をいかして」ということで、今までの地域活動支援事業でかなり対応してきていると思う。それで、過去の事業などを振り返りながら、さらに枝葉をつけて地域に発信していけばよいのではないかと思った。

【有坂会長】

順番が前後するが、2番目の意見を記入した横田委員より説明願う。

【横田委員】

私は「新幹線停車駅」があるということを入した。

皆の意見とは異なるかもしれないが、駅があり、乗換駅に徹するといった感覚が少しあることから、このような意見とした。

一つ目の「海・山のある」は、海水浴場や水族館もあり、また、山というとスキー場や温泉といったところもある。少し行くとキャンプ場がある。足を伸ばして、佐渡につなぐ。大潟区もよいところだと思う。公園があり、今は地引き網はできなくなったとの話を聞くが、そういったものもある。そのような話をしていたときにある人から「春日山がある」、「岩の原があるではないか」との意見を聞いて、ここを拠点にして動ける何かがあるとよいと思った。例えば、長野から新幹線で来て、日帰りもよいと思う。年をとると車で動くよりも、拠点に来て乗換えてトキメキ鉄道やレンタカー、バスであってもよいが、そういったものがあるとよいと思い、二つ目の要素を記入した。

三つ目、「リモートワーク」について記入したが、私の知り合いの70代くらいの人が「家を建てることにした」と言うので理由を聞いた。その方の息子がリモートワークをしているため、戻ってきてはどうかと話をしたら、帰ってくるとの話になり、家を建てることになったようである。その時は車という発想はなかった。直江津の人であるが「新幹線を使って」という話であった。「リモートワーク」はすごいことだと改めて感じた。

乗り換えをするということは、やはり、その場所は綺麗でなければ駄目だと思い、「美化、景観」ということを記入したが、もうすでにイルミネーション等も行われている。また、景観については、以前の会議でも話が出ていたが、駅周辺にコスモスやシロツメクサ、ひまわり等があってもよいと思った。

【有坂会長】

次に山岸委員より説明願う。

【山岸委員】

5番目が私の記入した意見である。

「大自然の中にある新幹線の停まる地域」ということで、新幹線が停まれば、家族や友達、また上越市に魅力を感じている人が訪れてくれるかもしれないと思った。

その要素として、一つ目は「移りゆく四季の魅力の発信」ということで、春は桜、夏は海、秋は紅葉、冬は雪といった美しさというか、上越の魅力を発信してはどうかと思った。

二つ目は「米、野菜、山菜など美味しい物の発信」ということで、駅の脇野田通りで野菜や山菜等が売られていることがあるが、お米など、上越の美味しいものを置くなどして、他の人にも見てもらってはどうかと思った。

三つ目は「人と人がふれあえる企画」ということで、この辺の人は人柄もよいと思うので、訪れる人と地元の人との触れ合いができるとうよいと思った。

【有坂会長】

「駅関連」の説明は以上である。

次に「駅関連以外」ということで、9番目は私が記入したが、あまり大きく捉えることができなかったので、もう一度、初心に戻ってみた。

今まで地域活動支援事業でいろいろと地域の遺跡等の話を聞く機会があった。例えば、荒町や七ヶ所にも遺跡があり、また私の家の近くに弘法の清水という昔からの井戸が残っている。そのようなところへ町外から団体で来る人をたまたま見かけることがある。そのような人達がどのような経緯で来るのか分からないが、遺跡は他にもあると思う。そういったものを例えば駅の構内や外に遺跡マップのような、いわゆる地図のようなもので掲示してあった方が、より多くの人から活動してもらえるのではないかと考え「案内板等の整備」という意見を出した。

二つ目の「釜蓋遺跡・吹上遺跡の発掘の促進」については、全然発掘が進んでいないので、私の希望として出した。まず、発掘をしなければ、中身が何なのか分からないということも考えられるので、できれば促進してほしいという気持ちで記入した。

次に10番目の意見を記入した高橋委員より説明願う。

【高橋委員】

10番目の意見を記入した。地域協議会に参加するようになって、地域のいろいろなことを少しずつ学んできたつもりだが、私はもともとこの地域の出身ではないので、あまり詳しいことが分からない。特に釜蓋遺跡については、駅の開発の頃から話は聞いていたが、実際に施設に入ったのは、地域協議会の活動の中で行ったことが初めてであった。

「なぜ、この場所に翡翠の加工場があったのだろうか」ということが一番の疑問だった。翡翠そのものを採取するのは姫川であるため、本当であれば、姫川に加工場があってもよいはずだが、なぜここでこのようなかたちで遺跡として残っているのか。私が考えた内容はほとんどこの資料の中に記してあるが、今はユーチューブ等でも考古学関係がいろいろと流れているかと思うが、そういう中で見ても石針について触れていることが何もなく、初めて意識したものだった。それも驚いたことであった。

また構成要素の五つ目にも記載しているが、出雲大社、諏訪大社、それから奴奈川姫というものが、神話の中でつながりがあるようだ。その中でこういうものも関連付いているものがあるのではないか。そういうものをストーリー立てて説明できるようにになれば、発信力としてもう少しアピール力が上がるのではないかと考えた。安直な考えかもしれないが、自分なりの考えをまとめたつもりでいる。

【有坂会長】

次に11番目の意見を記入した佐藤勝雄委員より説明願う。

【佐藤 勝雄委員】

金谷地区の黒田に、大和二丁目の飛び地がある。和田村史を見ると、非常に詳しくいきさつが記載されていた。今年も大和二丁目を中心に、神社の祭礼を行ったと新聞にも記載されていた。私達が住んでいる和田区から城山浄水場を見ると、非常によく見える。黒田城の史跡に行き、高田平野を見回すと、逆に日本海から妙高山、頸城平野の全てがよく見えると表示されていた。高さ的にも、283メートルの標高があり、はっきりとした記憶でないが、灰塚の神社から小学生時代に多分、浄水場へ行ったように思うが、神社に集まったことは何となく記憶に残っている。

身近な和田区の遺産なので、健康ウォーク等があるが、軽装の登山として和田区

で計画した場合に許可をもらわないといけないのかわからないが、登山、紅葉などを楽しめる。大和二丁目を中心とした大和地区の旧町名で5、6町内、七ヶ所新田、土合、今泉、荒町等が所有しているように書いてあったと思うが、せっかくの遺跡なので、皆で探訪、調査等に行くことができればよいと思い記載した。

【有坂会長】

これまでの各委員の説明を含めて、「地域活性化の方向性」のアイデアについて、質問等ある委員の発言を求める。

・発言なし

資料No.2に記載されている内容の他に、和田区の魅力、お宝、和田区の特性等、意見がある委員の発言を求める。

・発言なし

私から佐藤勝雄委員に質問である。記載されている黒田城は、城山浄水場の近くなのか。

【佐藤 勝雄委員】

浄水場も含めてのようである。浄水場の土地も市へ提供したようなことが記載されていたかと思う。もともとは、青木地代が持っていたとの記載があった気がする。和田の村史に書いてあった。多少、お酒が絡むということで、おもしろおかしくも書いてある。もともとは春日山城の出城というか、支城になり、鮫ヶ尾城の中間地点ということで、利用されていたようである。城主として黒田さんがおられ、謙信の親と戦い合っただけで亡くなられたということである。それで上杉謙信の支城になったということである。

とにかく、眺望は抜群によいと思う。こちらからもよく見え、発電所、城山浄水場等もあり、そういったものも見学はできると思う。和田区、大和地区の方の土地ということで、一つの観光地になればよいと思う。ただ、先ほど言ったように和田区全体の土地ではないので、いろいろと許可は必要なのかもしれない。

【有坂会長】

おそらく、共有地と言われている土地だと思う。大和二丁目ですら毎年春に道草刈りなどを行っているので、そのような感じかと思う。

他に何かあるか。

【宮崎副会長】

本日は過去の協議会資料を持って来ていないので、事務局に確認したい。

「地域活性化の方向性」について、目的はどういうもので、そういう内容に、と言うか、そういったことがこれまでの資料に記載されているのか教えてほしい。

【小池係長】

前回の会議で資料を配布して説明しているが、作成目的としては、地域協議会において地域の活力向上に向けた議論を進めるにあたって、地域協議会の委員間の共通認識や、地域協議会と市との間の認識の共有を図ると共に、市において取組を企画する際の参考とさせていただくものとして作成をお願いしている。

【有坂会長】

・他に質疑等、求めるがなし。

本日いただいた意見を基に、次回の会議につなげていきたいと思う。

次回の会議では、委員間でのグループワークを見込んでいる。

以上で次第4 議題（1）地域活性化の方向性について を終了する。

— 次第5 事務連絡 —

【有坂会長】

次第5 事務連絡 に入る。

事務局より説明を求める。

【滝澤センター長】

・今後の地域協議会の日程連絡

第9回地域協議会：11月16日（水）18：30から ラーバンセンター

第10回地域協議会：12月21日（水）18：30から ラーバンセンター

・その他配布物

牧区の地域活性化の方向性

八千浦区、三郷区、中郷区地域協議会の意見書

和田区地域協議会だより第51号

上教大、上越創造行政研究所のチラシ

上越市男女共同参画推進センターのチラシ（3枚）

【有坂会長】

- ・会議の閉会を宣言

10 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

11 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。